①　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 2013.10.24

乙黒　昭七

ポルトガル共和国

面積、日本の1／4、人口　1,000万人　リスボン　50万人

1. 名所

ポルト　ポルトワイン　国営酒場（リスボン）　地名として o porto

アヴェイロ　ポルトガル中部の都市　漁港　製塩、海藻　駅アズレージョ、塩田、

モリセイロ　ポルトガルのゴンドラ

コインブラ　大学、図書館、ファド

ナザレ　女性七色のスカート、黒衣　ユダヤ人

ファティマ　巡礼地　1916-1917　聖母出現譚

オビドス　城塞都市　アズレージョ（青いタイル）　Pousada（ホテルのように宿泊できる）

　\*リスボンの北、80km

サンタ・クルス　落日を拾いして行かむ、海の果て、プロフェッサー

ロカ岬　ユーラシア大陸の最西端

カモインス（1524c-1580）「ここに陸、果て、海、始まる」(1572ウズ・ルジアダス、叙事詩)

　\*ポルトガル史上最大の詩人

1. リスボンに住んでみて分かること

通貨　エスクード、ユーロ

ポルトガル人、身長、髪、服装、安定、おそい

サウダージ（Saudade） 郷愁、憧憬、思慕、切なさ、「懐かしさ」の意

ファド（Fado）　運命、宿命の意、民族歌謡。　Amalia RODRIGUES (1920-1990)

石畳、地下鉄（ただ乗り）、Ticket, 定期、売り場なし

ショッピング・センター　　アモレイラス、

コロン（1451-1506）

ヴァスコダガマ（1469？-1524）インド航路を発見、

雨期　10-11月

靴屋　修理屋　ハイヒール、手袋屋　ブランド物

ガソリンスタンド（出光）　闘牛場

貧しい　物乞い多い、ジプシー、黒人、中国人

マント、モラエスの生家

たら、イワシ、スープ、塩気、

Obrigado（オブリガド）（日本語の「有り難う」の原型？）

 3) モラエス関係

1966佃実夫「我がモラエス伝」

1969花野富雄、岡村多希子「モラエス全集　全5」

1980新田次郎「孤愁」—藤原正彦

　姉妹文通、手紙、絵ハガキ